

— 法政大学 —

2月11日 A方式 I 日程 英語

解答・解説

〔I〕

(1) ロ (2) ハ (3) イ (4) イ (5) イ (6) ニ (7) イ (8) ニ (9) ハ (10) ロ

- (1) by the… 「…単位で、…ぎめで」
- (2) bring の第4文型「O₁<人>に O₂<物>を持ってくる」
- (3) turn の第5文型「O<人・物>を C にする」※C は状態を表す形容詞
- (4) 空欄に関係代名詞 which が入り、直前 the school が先行詞先行詞。
- (5) 空欄には直前の the theory of relativity と同格の名詞句が入る。
- (6) couldn't は可能性を否定。空欄含む文の省略を補うと、You couldn't have seen him there… といったところ。「彼に会ったはずがない」
- (7) 否定の内容を受け「私もまた信じるができなかった」
- (8) it が形式主語。対応する真の主語は to have attracted 以下。「…だったと報告されている」
- (9) find の第5文型「O<人・物>が C であることがわかる、思う」※C には名詞・形容詞・分詞など
- (10) 本問の tell は「見分ける」という意味。

〔II〕

(1) ニ (2) ロ (3) ロ (4) ニ (5) ハ

- (1) tomorrow(明日)が Tuesday(火曜日)となると、the day after tomorrow(明後日)=Wednesday(水曜日)となる。
- (2) where were we? 「(会話などで)何の話をしていたのかな」「(教室などで先生が)どこまで進みましたか」の意となる。
- (3) ロは「僕は単に怠けてしまったんだよ」という意味。
- (4) 空欄を含む Riku のセリフ「Sho は昨年僕たちのチームのリーダーだったけど、結局僕が全部やったんだよ」続いて I'd ask Daiki instead. とあり、「彼(=Daiki)はずっと責任感があるよ」につながる。
- (5) ロは「私自身、昨晚それについて聞いたばかりだ」その後の「あなたはどうやって知ったの?」につながる。

〔III〕

問1 (1) (ロ) (2) (ニ) (3) (イ) 問2 (1) ハ (2) イ

- 問1 (1) (ロ)だけ「動物」についての話。
- (2) (ニ)だけ「木の分解」の話。
- (3) (イ)を取り除くと、携帯電話の歴史の話として上手く成り立つ。
- 問2 (1) ハ「世界中の多くの人々が、おいしいお茶を愛しています」
- (2) イ「人間は習慣の生き物です」

〔IV〕

問 1 (1) ニ (2) イ (3) ハ (4) ロ 問 2 ハ

問 1 (1) 第 2 段落第 7 文参照。「5 分の 1 の人々が、現代的な医療サービスを受けられていない」とある。

(2) 第 2 段落第 5 文参照。「約 3 分の 1 の人々が、清潔な飲料水を手に入れられていない」とある。

(3) 第 2 段落第 6 文参照。「4 分の 1 の人々が、十分な住宅環境を持っていない」とある。

(4) 第 2 段落第 4 文参照。「5 分の 3 の人々が、最低限の衛生環境を持っていない」とある。

問 2 第 2 段落最後から 2 つ目の文「これほどまでに、大きく急を要しそして嘆かわしい危機は、他にない」「これ」this とはさらに前の文の(the effects of) poverty のこと。

〔V〕

(1) イ (2) ニ (3) ロ (4) ハ (5) ハ

(1) Figure 1 の【Sun, Earth, Moon】の動きから判断する。

(2) Table1 の Nashville の時刻に注目。皆既日食が始まったのが 13:27:25 とあり、ニで示された時刻はその 2 秒前。この時点ではまだ「皆既」日食になっていない「部分」日食。

(3) Table1 の Nashville の Time totality begins と Time totality ends に注目。13:27:25 に始まり 13:29:23 に終わっているので、トータルの時間は 1 分 58 秒である。

(4) Table1 の皆既日食の時間を比較する。(3)同様 Time totality begins と Time totality ends に注目。

Carbondale が 13:20:06 から 13:22:41 まで 2 分 35 秒で最長。

(5) 第 4 段落第 1 文から判断。

〔VI〕

問 1 (1) イ (2) ハ (3) ハ (4) ニ 問 2 (1) ロ (2) イ (3) ロ (4) イ (5) ニ (6) ハ

問 1 (1) lower limbs 「下肢」つまりは「足」

(2) despair 「絶望」

(3) to date 「現在までのところ(では)」

(4) enhance 「<質・価値・地位など>を高める、向上させる、増す」

問 2 (1) 文章全体を通して、何について書かれているかを読み取る。

(2) 直接 2016 年という記述はないが、[2]段落第 3 文から、「2012 年までに日本で、300 以上の HAL suits が使われるようになった」とあり、第 4 文からアメリカで使われるようになったのは「2017 年」とあるので、この 2 つの文より判断する。

(3) [3]段落第 2 文より判断する。

(4) イは「HAL はどのように機能するのか」という意味。

(5) [5]段落第 2 文より、イにある「ideal(理想的な)」というのは内容と合わない。また第 3 文の内容と、ロ「患者が効果を感じるのに時間がかかる」のは矛盾する。そしてハの「費用」面の言及はないので、ニ「試してみる価値がある」が妥当かと。

(6) [6]段落第 2 文より。workers with physically demanding jobs を担っているのは、いかなる人かを考える。

〔VII〕

問1 (1) イ (2) イ (3) ニ (4) ロ (5) ハ 問2 (1) イ (2) イ (3) イ (4) ロ (5) ロ (6) ニ (7) ハ

問1 (1) lay down 「<規則・基準など>を宣言する、<法などが>…を厳格に規定する」

(2) civil 「国内の」 internal にも「国内の」という意味がある。

(3) rob 「奪う」

(4) abundant 「豊富な」

(5) displacement 「強制撤去」 relocation は「移転、移住」

問2 (1) 主には[1]段落第2文より判断。

(2) [3]段落第2文より判断。

(3) 選択肢ロ,ハ,ニがアフリカの紛争の原因であることは、[2]段落の特に後半部分から判断できる。
イが原因として該当しないのは、[3]段落第3文より判断。

(4) arms は「武器、兵器」ロは「武器・兵器の広まりが、紛争を増やしたため」という意味。

(5) [7]段落第2文より判断。

(6) [7]段落最終文より判断。

(7) 文章全体を通して、何について書かれているかを読み取る。この場合の inform は自動詞で「情報を提供する」という意味。

総評

- 〔Ⅰ〕は主に文法知識を問う、短文空欄補充選択問題。比較的平易なので、スピーディーに処理したい。
- 〔Ⅱ〕は会話文空欄補充問題。(2)で答えとなる **where were we?**のこの場合の意味など、知っている受験生は少ないと思うが、他の設問を含めて落ち着いて考えれば、消去法も駆使し全問正解もできそう。
- 〔Ⅲ〕問1は文章中の不要文を指摘する問題。センター試験でも同様の問題があるが、それよりやや易しいレベルか。「内容」的に不自然なものを指摘できるかがカギ。
問2は考え過ぎると答えに窮しそうな出題。
- 〔Ⅳ〕はグラフを伴う読解問題。こちらはセンター試験の大問4に通じそうな雰囲気だが、センター試験よりも易しい。
- 〔Ⅴ〕図や表を伴う読解問題。こちらもセンター試験の大問4と似ているが、より細かな計算(と言っても算数のレベル)が求められるのが面倒。
- 〔Ⅵ〕〔Ⅶ〕 比較的長めの読解総合問題

～全体を通して～

90分という長い時間の試験ですが、その分問題量も多いです。特に数多くの読解問題をこなすという経験をしていないと、すべての問題をやり終えるのは難しいのではないかと思います。